



2024年8月9日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 前 山 達 史
 (コード番号5337 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役総務部長 田 中 靖 久
 (TEL (06)4795-5000)

2024年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期第2四半期(中間期)(2024年1月1日～2024年6月30日)の業績予想値と実績値との間に差異が生じ、また、2024年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の業績予想値と実績値との差異
 (2024年1月1日～2024年6月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	1株当たり 中 間 純 利 益
前回発表予想(A)	2,900	△380	△390	130	4円01銭
今回発表実績(B)	2,757	△527	△539	50	1円58銭
増減額(B-A)	△142	△147	△149	△79	
増減率(%)	△4.9	—	—	△60.9	
(ご参考) 前期第2四半期(中間期)実績 (2023年12月期)	2,612	△394	△435	△444	△13円78銭

3. 連結業績予想の修正

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1株当たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	6,300	△290	△280	60	1円85銭
今回修正予想(B)	5,400	△900	△900	△200	△6円20銭
増減額(B-A)	△900	△610	△620	△260	
増減率(%)	△14.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(2023年12月期)	5,554	△860	△954	△955	△29円47銭

4. 差異及び修正の理由

2024年12月期第2四半期(中間期)の業績につきましては、タイル事業においては、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努めるとともに、WEB・SNS等によるプロモーションの強化、施主・設計事務所等に対する川上営業活動を充実させて参りましたが、建設業界において、建築資材や人件費

の高騰等が建設予算に大きく影響し、タイルの施工面積が当初の設計段階より減少する傾向にあり、廉価品や他部材への変更等の影響を受け、当中間連結会計期間においては、売上高204百万円及び営業利益88百万円、当初の予想を下回る結果となりました。また、不動産事業においては、主要顧客である海外投資家の慎重な投資姿勢に変わりはありませんが、投資再開する動きも見られるようになり、事業会社を始めとする国内投資家も不動産投資を積極的に進めていることから、引き続き受託資産の拡大に努めた結果、当中間連結会計期間においては、売上高は当初の予想を62百万円上回るものの、営業利益は57百万円下回る結果となりました。

これらの結果、経常利益については149百万円、親会社株主に帰属する中間純利益については79百万円、当初予想を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましても、タイル事業において、建築費の高止まりや現場でのタイル使用面積の減少は依然として続くことが予想されます。なお、タイル事業につきましては、現在進めております構造改革の一環として、販売及び生産の採算性及び効率化について組織の再編成を検討しております。計画が具体的に決定しましたら、改めてお知らせいたします。

また、不動産事業及び新規事業であるワールドワイド・イノベーション事業につきましては、計画どおり進めておりますが、当連結会計年度中に見込んでおりました売上が来期以降にずれ込むことが予想され、上記のとおり通期の業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上